

平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社スタートトゥデイ
代表者名 代表取締役社長 前澤 友作
(コード番号：3092 東証第 1 部)
問合せ先 取締役副社長兼 CFO 柳澤 孝旨
(電話番号：043-213-5171)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 4 月 27 日開催の臨時取締役会において、平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）における特別損失を計上することいたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

(1) 固定資産に係る減損損失及びたな卸資産評価損の計上

体型計測を目的とした採寸用ボディースーツの製造のために、当社が実施した設備投資のうち、同スーツの仕様変更等により今後の利用が見込まれないものが一部発生したことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失として 1,486 百万円を計上することといたしました。同様に同スーツの製造のために集積回路等の部材を購入しておりましたが、同スーツの仕様変更等により今後の利用が見込まれないものが一部発生したことに鑑み、保有するたな卸資産の収益性を慎重に検討した結果、たな卸資産評価損として 263 百万円を計上することといたしました。

(2) 投資有価証券評価損の計上

当社の採寸用ボディースーツの製造委託先且つ当社の関係会社である StretchSense Limited（所在地：ニュージーランド国オークランド、代表者：Benjamin Marc O' Brien、以下、「SSL 社」といいます。）において、同社の業績が当初策定した計画を下回って推移していること等を勘案して、業績の見通しを慎重に検討した結果、投資有価証券評価損として 1,848 百万円を計上することといたしました。

(3) 前渡金評価損の計上

採寸用ボディースーツの仕様変更等に伴い、SSL 社への投資実行に際して当初策定した計画における超過収益力の源泉でもあった、当社が有するセンサー技術の活用が今後見込まれないことから、仕様変更前の採寸用ボディースーツにつき相当数の生産を見込んで当社から SSL 社等に対して支払済である前渡金につき、前渡金評価損として、663 百万円を計上することといたしました。

2. 業績への影響等について

本件につきましては、本日開示の「平成 30 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以上